

昆虫文献 六本脚 出版物・新着図書・雑誌情報

日頃より「昆虫文献 六本脚」をご愛顧頂き誠にありがとうございます。

2023年7月号

総額表示義務化に伴い、2021年4月1日から、すべて税込表記（一部本体価格併記）となりますことご了承下さい。

<新着図書>

くらべてわかる蛾 1704種



横田光邦（監修）、諸岡範澄・筒井学・阿部浩志(文), 2023.

B5, 151pp. (フルカラー), 価格: 2,310円 (税込)

日本で 7000 種近くいるといわれる蛾の仲間の中から、身近に見られる種類を中心に、1704 種類の成虫をわかりやすい白バック写真で紹介。多様な蛾を大判書籍で一覧することで、すばやくどの仲間かわかります。ほぼ自然な静止状態の生体写真で、標本写真中心の図鑑とは全く異なり、夜間採集をしているような気分を味わうことができるでしょう。巻末には 278 種の幼虫も掲載され、読んでためになるコラムも充実。

【目次】本書の使い方／用語解説／ガの世界／ガを観察しようガ Index 色で調べるガの早見表

成虫ページ (1704 種) 幼虫ページ (278 種)

【コラム】ガの食性、そして人類による昆虫の利用／雌雄嵌合／コーリング／スズメガの口吻／隠蔽的擬態／ガにはカワイイがいっぱい! ? / 北海道のガ / 沖縄のガ / 高山にすむヤガのなから

The むし 昆虫図鑑 4200種



田下昌志・丸山潔・降旗進一郎・福本匡志・横山裕之編著, 2023.

A5 判並製, 420pp. (フルカラー), 価格: 3,800円 (税込 4,180円)

本州を中心に分布する緻密で美麗な 4200 種の標本画像を用い、それぞれ近似種との区別点を詳細に図示しています。普通種から珍しい種までをランク表示したほか、見られる時期と場所、大きさ、食草などのほか、気候変動や開発による激減種・増加種なども解説しました。「猛烈な虫好き」を自認する在野の昆虫研究者 5 人が精想から 10 年、熱意を込めて作り上げた究極の 1 冊は、昆虫の多様さと美しさと不思議な魅力が詰まった昆虫図鑑です。

昆虫観察ノート: 世界に一つだけの昆虫記を作ろう!



喜多英人・須田 真一, 2023.

A5, 111pp. 価格: 1,200円 (税込 1,320円) 環境別の「こんな虫に会いたい」と季節別の虫の居場所がカラーで示されたのち、昆虫観察に関する注意事項と本編となる「昆虫観察ノート」の使い方が書かれています。本書は、いわゆる自身で観察したことを記録するための「フィールドノート」(80 ページ) がメインとなります。使い方は自由なので、昆虫観察のお供にこの 1 冊をお勧めしておきます。

図鑑日本のむかで



奥山風太郎, 2023.

A5, 160pp. 価格: 2,200円 (税込 2,420円)

身近な生き物ムカデですが、本邦初のムカデ図鑑です。オオムカデ目全種、未記載種を含む百足百種(むかで 100 種)が掲載されています。ムカデがこんなに種類があったのか、という驚きの連続です。ムカデの生態や採り方、見分け方、ムカデにまつわるコラムも充実。

新訂 冬虫夏草ハンドブック



盛口 満(著)・安田 守(写真), 2023.

新書判, 160pp (フルカラー) 価格: 2,200円 (税込 2,420円)

国内で確認されている冬虫夏草のうち 133 種類を掲載し、最新の分類に対応。野外での携行性はそのままに、総ページ数と掲載種数を旧版(2009 年発行)のほぼ倍と大幅に増やした新訂版。野外活動に便利な防水ビニールカバー付き。

ヨモギハンドブック



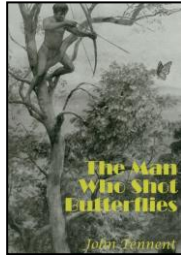
山下智道, 2023.

新書判, 128pp (フルカラー) 価格: 1,800円 (税込 1,980円)

国内で見られるおもなヨモギ 44 種類を掲載。一見似ている種類が多いヨモギ類を、葉と頭花の特徴で見分けられるように編集。識別だけでなくその種の個性、いわば「草となり」を、著者が実際に観察した経験から紹介。ヨモギを食する昆虫も多いので、便利な 1 冊となります。食用や薬用、神事や魔術など、ヨモギと人の暮らしとのさまざまな関わりについても、豊富な情報を盛り込んだ。巻末の「全国ご当地よもぎ餅」の写真と解説はオススメです。

The Man who Shot Butterflies

アレクサンドラトリバネアゲハを撃ち落とした男



John Tennent, 2021.

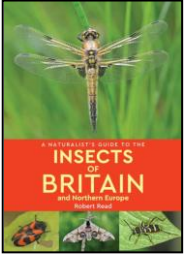
218x302mm, 603pp., フルカラー, テキスト: 英語. 価格 29,700円 (税込)

世界最大の蝶であるアレクサンドラトリバネアゲハは、蝶で撃たれた♀をもとに記載された有名な蝶です。この蝶を撃ち落とした男こそ、博物学者で探検家のアルバート・ミーク (Albert Meek) です。ミークは、ウォルター・ロスチャイルドに雇われ、トリリングにある彼の博物館のためにあらゆる

ものを収集しました。本書は 603 ページの大著(重量は 3.26kg!) ですが、ミーク本人やその功績や発見についてのすべてが描かれていると言っても過言ではないでしょう。著者ジョン・テネ

ント (John Tennent) は、「バヌアツの蝶」、「ソロモン諸島の蝶」などの著作を持つ蝶の専門家として知られ、今回長い年月をかけてミークや関係者の書簡、膨大な写真を整理し、ミークの足跡も自身でたどり、本書を製作したそうです。

A Naturalist's Guide to the Insects of Britain and Northern Europe ナチュラリストガイド 英国と北ヨーロッパの昆虫

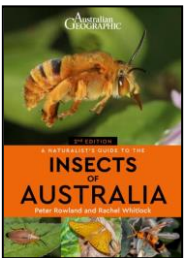


Robert Read, 2019.

A5, 160pp. 2,115 円 (税込 2,327 円)

本書は、英国と北ヨーロッパに生息する代表的な昆虫の 280 種のフィールドガイドです。英国の一流自然写真家によるハイクオリティな写真に、英名、学名、分布、生息地などの詳細な種の説明が添えられています。さまざまな生息地、ライフサイクル、昆虫の研究と保護について解説しています。英語

A Naturalist's Guide to the Insects of Australia 2nd Edition ナチュラリストガイド オーストラリアの昆虫 第2版

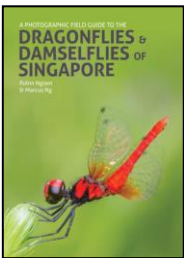


Rowland, P & R. Whitlock, 2022.

A5, 176pp. 2,855 円 (税込 3,140 円)

本書は 2019 年発行の第 2 版となります。オーストラリアに生息する代表的な昆虫の 292 種のフィールドガイドです。第 2 版では、学名等が更新され、掲載種の新画像が豊富に収録されています。オーストラリアのトップ・フォトグラファーによるハイクオリティな写真には、体長、分布、生息地、習性など、詳細な種の説明が添えられています。巻末にオーストラリアに記録のある昆虫の科の最新チェックリストも掲載されており、各科の属数と種数が記載されています。テキスト：英語

A Photographic Field Guide to the Dragonflies & Damselflies of Singapore フィールドガイド シンガポールのトンボ・イトトンボ



Robin Ngiam • Marcus Ng, 2022.

A5, 340pp. 8,300 円 (税込 9,130 円)

本書は、シンガポールに生息する 136 種のトンボとイトトンボのフィールドガイドです。序章では、トンボの解剖学、食性、求愛、繁殖、シンガポールにおけるトンボの研究と保護、シンガポールでのトンボウォッチングに最適な場所などを包括的に解説しています。すべての種について、野外での同定に役立つ主な特徴、類似種の見分け方、生息地と習性、シンガポールでの生息状況、分布、国内および国際自然保護連合 (IUCN) の保護状況、幼虫の特徴などを詳しく解説しています。さらに、QR コードからリー・コン・チアン自然史博物館のウェブサイトにある詳細な幼虫のリンク画像を見ることが出来ます。最終章では、シンガポールに生息するすべてのトンボの国別ステータスと保護状況のチェックリストを掲載しています。英語

<新着 月刊誌・季刊誌>

月刊むし (むし社)

2023年8月号 (630号) B5, 64pp. 1,430 円 (税込・送料別)

カミキリ特集号・23 [表紙] コエレスティスルリボシカミキリ 永幡嘉之、今月のむし マヤサンコブヤハズカミキリ 浅野悟史、トホシカミキリ族の



後食習性 永幡嘉之、至福の日々：九州南半部のカミキリを探る

(5) ~ウスモンメタカなんかどうやって探せばいいのだ!~ 小岩屋 敏、伊豆諸島・利島のカミキリムシ 藤田 宏、エゾモントゲヒゲトラカミキリとは何か? 新里達也、静岡市におけるケブカトラカミキリの発生 多比良嘉晃・岸本年郎、今月の本 TSU-I-SO カスタム 西山保典追悼集 本誌編集部、虫誌ダイジェスト ゆらぎあ・他 本誌編集部、KIROKU・HOKOKU (18 編) ケブカトラカミキリ九州西部を北上 立川喜一、福島県南会津郡でカスガキモンカミキリを採集 進藤健朗、トゲヒゲトラカミキリの新成虫をヤマブドウから採集 浅野悟史、40 日以上生存したオオトラカミキリ 笹倉靖徳・竹市雅俊、群馬県品川村でマグソクワガタを採集 波多野幸希、佐渡島におけるホシベニカミキリの追加記録 桑原佑典、広島県にてツヤハダゴマダラカミキリを採集 永野篤弘、東京都小平市の玉川上水沿いでメリケントビハムシを採集 韓 昌道、九州初記録のナラアソウカイモドキ 赤嶺 蒼、茨城県涇沼北岸でベニシジミ異常型を撮る 廣瀬 誠、栃木県塩谷町でクロコムラサキを採集 小川真斗之、京都府におけるヨツモンツヤゴミムシダマシの記録 河合嗣生、愛知県豊田市でヒメマルミツギリソウムシを採集 大塚 篤、東京都におけるマダラミスカメムシの初記録 古旗峻一・内田大貴、福岡県小石原の湿地でスゲヒメソウムシとババスケヒメソウムシを採集 大塚健之・今坂正一、ミドリヒョウモンの異常型を撮影 鈴木俊文、佐賀県鳥栖市においてムシャクロンソウムシを採集 高原俊一、ナガサキアゲハ♀有尾個体の採集例 安達 薫

昆虫と自然 (ニューサイエンス社)

2023年8月号 (Vol.58 No.9) B5, 44pp. 1,682 円 (税込 1,850 円)

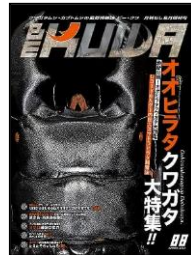


特集・沖縄県のソウムシ相 Weevil Fauna of Okinawa Prefecture, 総論:沖縄県のソウムシ相 吉武 啓、沖縄県のクモソウムシ概説 藤澤 侑典、琉球列島の狭義クチカクシソウムシ亜科の分布パターン 辻 尚道、沖縄県産ヒゲナガソウムシ科の研究の現状と今後の展望 今田 舜介、沖縄県産ソウムシの超多様性解明に向けて 小島 弘昭、連載:中国産オサムシ類に関する知見(37)云南省香格里拉県産バタマキンオサムシの1新

亜種 井村 有希、連載:昭和の昆虫記録(4)静岡のチョウー昔と今(2) 高橋 真弓、INSECTS REPORTS 本州~九州のキリギリスの交尾器 和田 一郎、INSECTS REPORTS 地下浅層に生息するチビゴミムシは視覚を失っているのか? 丹伊田 拓磨

BE-KUWA (むし社)

No.88 (2023年7月発行) A4, 128pp. 1,540 円 (税込)



オオヒラタクワガタ大特集!!、オオヒラタクワガタ大図鑑 塚脇 智成、スマトラオオヒラタの飼育 たくま、隙間産的飼育 - ディティエールシクワガタ編 - 安部 浩平、虫のためなら、どこへでも! 野澤 亘伸、マクロ撮影の世界 大塚 昌平、HirokAのへら2 漫遊記 河野 博史、山梨オオクワ採集 台木の上にも3年! 長坂 敬司、たえたそちゃんねる (裏) たえたそ、異種格闘技戦!! 遠藤哲

哉のクワカブ vs プロレスラー!! 遠藤 哲哉、新オオクワガタ検証企画!! 同条件で飼育してどのくらい結果がバラけるのか検証してみよう! プロデューサー・チョネ、息抜き飼育にこんな虫 - ノコギリクワガタの巻 - 春日 良太、21世紀版 クワガタムシ飼育のスーパーテクニック 小島 啓史、ホベイの世界 山本 良樹、日本産クワガタムシ採集記 徳之島・西表島採集記 満保直彦、80mm プリーダーから学ぶ ゼロからはじめる巨大オオクワガタの育て方 上級編 奈良憲成、編集部よりお知らせ、読者と執筆者と編集部をつなぐ井戸端会議室 ひ〜く横丁、クワガタ用語の基礎知識、編集後記

季刊ゆずりは (NRC 出版)

No.98 (2023年7月1日) A4, 64pp, 2,000円 (税込)



グラビアー湯ノ丸山のミヤマシロチョウ 梅村三千夫, クモガタヒョウモンの4月発生とハマダイコンへの訪花について (2023年) 有田忠弘, 3月上旬に採集したミカドアゲハハ八重山亜種の強制採卵と飼育経験 一その顛末と得られた知見一 石田秀行, カラスアゲハ類の交配II - 幼生期その2 - 浜 祥明, 表紙解説-タイワンツバメシジミ 梅村三千夫, ご報告 「日本蝶類学会」から「磐瀬賞」を授与

されました(続き) 杠 隆史, 蝶類の紫外線撮影 2.大東諸島のミナミキチョウ 浜 祥明, 絶滅危惧種の撮影記(その3) 大塚昭, 国内初記録と思われるドウブレダイルリマダラ Euploea doubledayi の記録 浜本新也, 石垣島産蝶類2種類の異常型について 浜 祥明・福本三千夫, グラビア解説-湯ノ丸山のミヤマシロチョウ 梅村三千夫, トガリチャバネセリ幼虫をシロコガヤツリより採集 大塚市郎, ルリモンジャノメの飼育 山田秀憲, 飛翔 生きている一番美しい姿を写し止めたい 第7回 春の北海道 荻野秀一, 背振山のツバメシジミ 楠本優作, 【連載シリーズ】止々呂美哀歌(98) 胡蝶の旅路(6) 夏秋 優, 蝶の雌雄メモ(2) メスグロヒョウモン 小田康弘, 撮影記(53) ヒサツミドリシジミ再び 新井雅夫, むしの風景(47) ホードスギ 近藤伸一, 【ゆずりはメモ】ヤマトシジミとシルビアシジミの異常型を採集 金子孝夫, オナシシロオビアゲハ Papilio alphenor の雌雄型 杠 隆史, ルリウラナミシジミの沖縄島での食草について 比嘉正一・野林千枝, シナガワハギに産卵した石垣島産キタキチョウ 浜 祥明, 【メモリアル・ベストショット】(55) エゾミドリシジミ 梅村三千夫, 【ゆずりは・ギャラリー】(89)『起床』ツバメシジミ 中橋利和, 【Books(新刊紹介)】青木一幸編著『シン・八重山諸島 採集観察地ガイド。2023-2024』 浜 祥明, 西山保典追悼編集委員会『TSU・I・SO カスタム 西山保典追悼集』 杠 隆史

<新着 学会誌・同好会誌>

佳香蝶 (名古屋昆虫同好会)

Vol.75 No.294 (2023年6月発行)24pp, 1,000円 (税込・送料別)

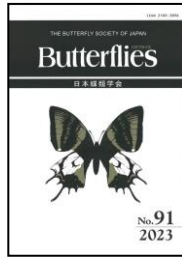


愛知県のスギタニルリシジミの分布と生態 浅野隆, 岐阜県における Spilosoma 属 2種の分布と出現期 宮野昭彦, ツメレンゲを利用したムシャクロツバメシジミの人工採卵と飼育の記録 林聡成・林智大・丹羽弘之, 名古屋市内のオオマトボタルについて 戸田尚希, 愛知県で採集したテントウダマシ科 河路掛吾, ヒメギフチョウが青い空き缶に飛来 横地鋭典, サトキマダラヒカゲを3月に目撃 大塚

篤・山田哲郎, ミスジチョウを設楽町仏坂峠にて多数目撃・採集 浅野隆, 愛知県から採集されたヒゲナガシロハシカミキリ 蟹江昇・佐藤努, 愛知県豊田市でアカギカメムシを採集 大熊千晶, ムモンシリグロオオキノコの愛知北部の記録 河路掛吾, カドムネチビキカワムシを愛知県面ノ木で採集 河路掛吾, クロナガハムシを愛知県豊田市で採集 河路掛吾, ツブコメツキモドキを愛知県六所山で採集 河路掛吾, ムモンシリグロオオキノコ岐阜県の採集例 蟹江昇, 愛知県から採集されたコウチュウ 蟹江昇, 名鉄古見駅内で採集したトルキスタングキブリの記録 中野彰人, オオスズメバチとハチタケの確認 間野隆裕・石川進一郎, ネジレバネが寄生するコガタスズメバチを確認 間野隆裕, オグマサナエ交尾ペアにフタスジサナエみみが連続 横地鋭典, クワトゲエダシヤクの新食餌植物 間野隆裕・寺澤明子・大脇雅久

Butterflies (日本蝶類学会 表紙: テングアゲハ)

No.91 (2023年5月25日) B5, 58pp., 3,500円 (税込・送料別)



世界・チョウの旅(第18回), モンスーンの申し子ステノセムス 稲岡茂, 【報文短報】エバンスギンスジミツオシジミとスポクレアギンスジミツオシジミの検討 斉藤光太郎・稲好豊, Tajuria iapyx の3新亜種の記載を含む分類の再検討 Andrew Rawlins, Alan Cassidy & Stefan Schröder, 食葉の中脈を残すタテハチョウ科幼虫の食性の比較 福田晴夫, ヤオイナズマのベトナムからの記録 杉本志郎

ひらくら (三重昆虫談話会)

Vol.67 No.1 (476号) (2023年2月発行)



B5, 24pp, 750円 (税込・送料別) アキノヒメミノガ (Bacotia sakabei, ミノガ科)の分布調査 坂部元宏, 菟野町でゴイシシジミを目撃 矢田栄史, 松阪市飯高町におけるエソゼミ属2種の新産地 北村颯, 中南勢地域のヒメハルゼミの分布調査 北村颯, 御在所岳のオオチャイロハナムグリ 稲垣政志・太田玲奈, 三重県初記録のワタリピロウドコガネを採集 稲垣政志, 伊賀市のカラカネチビナカボソタマムシ 乙部宏, ヒメクダマキモドキを紀北町で採集 河北均・中西元男

るりぼし (水戸昆虫研究会)

No.52 (2023年2月発行) B5, 87pp, 2,500円 (税込・送料別)



[50周年記念号] 水戸昆虫研究会 1973-2023 (久保田正秀), むしのサイズは∞ -シン・水戸昆虫研究会「るりぼし」序一(廣瀬 誠), 水戸昆50周年に寄せて, るりぼし総目次(創刊号~51号) (総目次編集委員会), 水戸昆虫研究会年表(2003~2023) (綿引健夫), るりぼし原稿の投稿規定と執筆要領, 編集後記

昆虫文献 六本脚

URL: <http://kawamo.co.jp/ropon-ashi/>

EMAIL: ropon-ashi@kawamo.co.jp

〒102-0075

東京都千代田区三番町24-3 三番町MYビル3階

TEL: 03-6825-1164 FAX: 03-5213-1600

定休日: 土、日、祝日 営業時間: 13:00~17:30

●当社の口座は以下の通りです。

ゆうちょ銀行口座: 記号001202 番号18588

郵便振替口座: 00120-2-18588

銀行口座: 三菱UFJ銀行 室町(ムロマチ)支店

普通預金 3962446

※口座名義は「昆虫文献 六本脚」

(コンチュウブンケン ロッポンアシ)

